

科目名 動物生産管理学特論 (2単位)

担当者氏名 相馬 幸作

◆学習・教育目標

近年の動物生産現場では新規動物の有効利用が盛んであり、既存の畜産業の枠組みを広げている必要がでてきた。また環境保全や生命倫理の観点からも、生産効率や経済優先の考え方を見直す時代に来ている。本講では新規動物資源の生産研究例を取り上げながら、新たな動物生産管理学を論述する。

◆取り扱う領域(キーワードで記載)

環境保全	畜産業	家畜資源	新規動物資源
動物生産管理	動物生産		

◆授業の進行等について(単位制度に基づく授業の進行予定・内容)

回数	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1-7回	動物の栄養生理	動物生産の必要性と倫理、動物の栄養生理に基づく飼料給与と飼料生産用例	動物の栄養生理に基づく飼料給与の方法と、自給飼料の生産を学ぶ。
8-15回	家畜の行動と管理	行動や生態に基づく動物の管理方法と管理施設、新規動物生産発展の背景と生産状況飼料生産の現状	家畜の行動や管理方法を学ぶ

◆教科書及び資料(授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所(発行年)

講義ごとに関連資料を配布する。

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所(発行年)

◆評価の方法(レポート・小テスト・定期試験・課題等のウェイト)

レポートと出席で評価する。

◆その他受講上の注意事項
